

宮古発

新鮮カキの産直オープン

その日に捕れた新鮮なカキを販売する産直施設「うみのミルク」が宮古市赤前の堀内漁港に今年もオープンしました。店頭では大粒のカキが1キロあたり2800円と例年並みの価格で販売され、待ちわびた人たちがさっそく買い求めていました。今年のカキは実入りも質も最高で当たり年だということです。来年の4月末までの営業です。

(11/19 ニュースエコー)



宮古発

田老で鮭・あわびまつり



宮古市田老の冬の味覚を楽しんでもらおうという「鮭・あわびまつり」が開かれました。今年で39回目となるこの催し、

会場の道の駅たろう隣のイベント広場には新鮮な海産物を扱う店が軒を連ね、サケの串焼きコーナーには行列ができていました。また、アワビをその場で焼いて販売する店もあり、会場は浜の香りに包まれていました。(11/24 ニュース)

大槌発

旧庁舎 アスベスト除去



解体工事が中断している大槌町の旧役場庁舎で有害物質のアスベストの除去作業が始まりました。旧役場庁舎の解体工事は、アスベストの調査の不備から中断していましたが、県などの検査で町の計画に問題が無いことが確認されました。除去作業は11月27日に終わる見通しで、町は来年1月中旬の解体着手を計画しています。

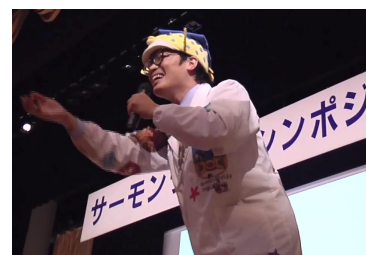
(11/22 ニュースエコー)

解体工事が中断している大槌町の旧役場庁舎で有害物質のアスベストの除去作業が始まりました。旧役場庁舎の解体工事は、アスベストの調査の不備から中断していましたが、県などの検査で町の計画に問題が無いことが確認されました。除去作業は11月27日に終わる見通しで、町は来年1月中旬の解体着手を計画しています。

宮古発

さかなクン サケの講演

宮古市の魚に定められている「サケ」について広く知ってもらおうと「サーモンランドシンポジウム」が開かれました。講師は東京海洋大学客員准教授も務める、さかなクン。自ら書いたイラストを使って魚の名前当てクイズを行い、招待された宮古市と山田町の400人あまりの小学生は、楽しみながら魚についての理解を深めました。(11/27 ニュースエコー)



山田発

移管を前に駅の見学会



山田町のJR山田線・織笠駅の見学会が行われました。見学会には沿線住民、およそ90人が参加しました。1キロほど北に移転、新築された織笠駅の駅舎は山田湾のオランダ島をモチーフにしたデザインで、住民たちにも好評でした。JR山田線の宮古・釜石間は、JRから三陸鉄道に移管され、来年3月にリアス線として開業します。

(11/23 ニュースエコー)

大船渡発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 隔週水曜日放送)

大船渡のFMねまらいんの清水健太さんが、12月15日(土)、16日(日)に陸前高田市広田町で行われる「冬 たかぷろ18」について伝えてくれました。地元の中高生や首都圏の大学生がサンタクロースの衣装を着て、プレゼントを配って回るイベントです。回数を重ね、町の人にも心待ちにする催しになってきているとの事です。(11/28)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122